頭にやさしい雑学読本

ちょっと意外ないい話

東京大学名誉教授
理学博士
竹内 均 編

頭にやさしい雑学読本
ちょっと意外ないい話

1990年10月27日　第一版第1刷発行
1991年10月22日　第一版第37刷発行

編　者　竹内　均
発行者　宇野正昭
東京都新宿区若葉1-19
印刷者　竹内　一
印刷所　壮光舎印刷株式会社
東京都荒川区東日暮里6-20-9

本　社・東京都新宿区若葉1-19
事業所・東京都文京区小石川5-24
発行所　同文書院
電話 03(3812)7777 FAX 03(3812)7792
振替　東京0-1316

Printed in Japan
ISBN 4-8103-7023-2

快学叢書

頭にやさしい雑学読本

東京大学名誉教授
理学博士
竹内均［編］

同文書院

まえがき

この世の中で何がいちばん面白いかといったら、私は森羅万象あれやこれやの雑学知識ではないかと思います。私の専門は地球物理学というわりに冷たい学問ですが、これも見方を変えて、物理だけではなく人間の側から見ると意外に面白いものが見えてくるんです。考古学や歴史です。そう思った私は地球上のあらゆるところに足を伸ばしました。エーゲ文明が眠っているといわれるギリシャのサントリニ島、ここでぶち当たったのはプラトンのアトランチス伝説です。もともとこれは考古学の問題ですが、それを地球物理をやったものの頭で考えてみる。アフリカのケニアやタンザニアにも行きました。ここでは人類の誕生について自分の興味を掘り起こすことができました。

こうして世界中を歩いたあと考えてみると、私を情熱的につき動かしていたものは野次馬根性なんです。なんでも見てやろう、なんでも知ってやろうの精神です。逆にいえば、知ろうと思いさえすれば、森羅万象あれやこれやほど面白いものはないということです。なにもことを大げさに構えなくても、身近なところにもそんな話のタネはいくらでもあります。この本でそれがわかりますね。

竹内　均

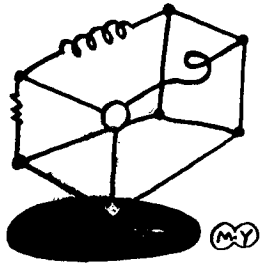
此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.

◎目次

まえがき――3

第1章 知ってるようで、知らない

①牛はどうして草しか食べないのに、大きくて元気なの?――24
②ビールはたくさん飲めても、水はたくさん飲めないわけは?――24
③リンスをすると髪がサラサラになるのはなぜ?――25
④界面活性剤ってなんのこと?――26
⑤キャッシュカードのしくみは?――27
⑥自動車や飛行機に雷が落ちたらどうなる?――28
⑦ステンレスはもともとさびているのだ!――28
⑧ミカンを食べると、手が黄色くなるのはなぜ?――29



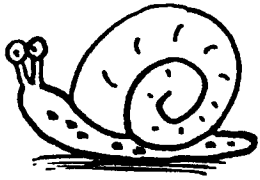
⑨車の中で本を読むと、気持ちが悪くなるのはなぜ？――30
⑩使い捨てカイロはなぜ温かくなるか――31
⑪クモだって空を飛べるっていうこと知ってる？――32
⑫クモが自分の糸にかからないわけは？――33
⑬クモの糸で靴下が作れる？――34
⑭八個もあるのにほとんど役立たずのクモの目――35
⑮磁石がなくても大丈夫、時計で方角がわかる――36
⑯ヤマイモは、なぜすりおろして食べるか――36
⑰冷やしすぎのビールはなぜまずいか――37
⑱煮物の味付けに、塩より砂糖を先に入れるのはなぜ？――38
⑲マヨネーズは室内保存でいいの？――39
⑳スキヤキで肉としらたきを離すのはなぜ？――40
㉑ワサビの正しいおろし方がある――40
㉒同じ小麦粉から作るラーメンとうどんの決定的違い――41
㉓どうして地球は回っているの？――42

㉔未来にはタイムトリップできるが過去にはできない――43
㉕酢を飲むとからだがやわらかくなるか――44
㉖手品のハトは、白いハトでなければだめなのか――45
㉗野球のピッチャーマウンドが高くなっているのはなぜ?――45
㉘雨の降ってくる速度はどのくらいなの?――46
㉙線路の砂利はなんのために敷いてあるの?――47
㉚新聞紙の上下にあるギザギザはなに?――48
㉛新幹線のレールにつなぎ目が少ないのはなぜ?――49
㉜使い捨てライターのまん中の仕切りはなんのため?――49
㉝ドロップとキャンデーのちがいは?――50
㉞千六本という野菜の切り方は、大根にしか使われない?――51
㉟牛乳は季節によって味がちがうのか――52
㊱パンは焼けば固くなるのに、おもちは焼くとやわらかくなるのはなぜ?――52
㊲ドライアイスの煙を吸っても大丈夫か――53
㊳同じ三十度でも風呂は冷たく、気温は暑く感じるわけ――54

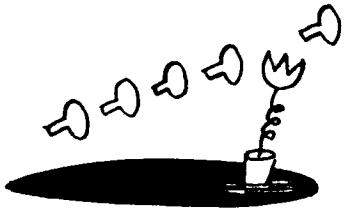
第2章

わかっているようで、わからない

①白い大根を煮ると透明になるのはなぜ？——58
②ハエはどうして天井に止まれるの？——58
③アゲハチョウのサナギに緑色と茶色があるのはどうして？——59
④ほかの魚に比べて、イワシのうろこがはがれやすいのはなぜ？——60
⑤流氷はなぜ北海道にしかこないのか——61
⑥月で宇宙飛行士が歩くと砂ぼこりはたつか——62
⑦夕日が大きく見えるのはなぜ？——63
⑧スプレー缶の底はなぜ球形にしてあるか——63
⑨赤ちゃんカタツムリはどんな姿をしている？——64
⑩シロアリはアリの仲間じゃない？——65
⑪食塩水にキンギョを入れると元気になるのはなぜ？——66
⑫魚はどうやって寝るの？——67
⑬雄が雌になってしまう魚がいるってほんと？——68



⑭土はなにがどうなってできたものなの？――69
⑮犬が散歩でクンクンやるのはなぜ？――70
⑯ウサギに水を飲ませると死ぬってほんと？――71
⑰辛いものを食べると汗が出るのはなぜ？――72
⑱ニワトリはなぜ口を上にして水を飲むのか――72
⑲胃液が胃を消化しないわけは？――73
⑳ジャガイモは温度が低いとなぜ甘くなるの？――74
㉑ミカンの袋についている白い筋はなぜあるの？――75
㉒白い花はほんとは白くない？――75
㉓コイに歯があるってほんと？――76
㉔生まれたての赤ちゃんが赤いのはなぜ？――77
㉕傷口が膿むのはなぜ？――78
㉖クジラの赤ちゃんはどうやってお乳を飲むか――78
㉗バナナにはなぜ種がない？――79
㉘森にすむゴキブリがいるって、ほんと？――80



㉙海の水はどこから湧き出てくるの？——81

第3章 つい話したくなる意外な雑学

①缶詰のミカンはどうやってむくか——84
②冷蔵庫の氷、中央がふくらんでいるのはなぜ？——85
③シャボン玉は、模様ができたあと白くなると割れるのはなぜ？——85
④イカが空を飛ぶってほんと？——86
⑤朝日はまぶしいのに夕日がまぶしくないのはなぜ？——87
⑥腕や足にたんこぶができないのはなぜ？——88
⑦秋から冬にかけてだけ活動するアリがいる——89
⑧クモの糸は体のなかでどうなっているか——90
⑨魚やくじらの体温は何度くらい？——91
⑩昆虫の生態で天気予報ができる？——92
⑪魚が一日中泳いでいられる理由——92

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.

⑫季節によって移動する渡り鳥のような昆虫がいる——93
⑬果物は熟れるとどうして色が変わるか——94
⑭トンネルの中の電灯はなぜオレンジ色か——95
⑮ゆで卵をすぐ水につけると殻がむきやすくなるわけは?——96
⑯冬、池の底の水より上の水が冷たいそのわけは?——96
⑰ひじを打つとしびれるのはなぜ?——97
⑱紙は木から作るのになぜ「糸」偏か——98
⑲レンコンの穴はなんのため?——99
⑳なぜカツオは一本釣りで釣るのか——100
㉑一気に冷たいものを食べると頭が痛くなるのはなぜ?——101
㉒どんな人が蚊にさされやすいか——101
㉓ツバメは去年の巣を覚えているか——102
㉔お風呂に入るときつく体のあわはなに?——103
㉕日焼けのあとがかゆいのはなぜ?——104
㉖蚊の口ばしは、かみの毛のようなのにどうして人をさせるのか?——105

第4章

フト疑問に思ったことの答え

①帝王切開の「帝王」って誰のこと?——108
②紅茶も緑茶ももとは同じ?——108
③マスクメロンの網目はなに?——109
④春先に出回るのになぜ夏みかんというか——110
⑤その昔、バターは薬だった——111
⑥ウインドサーフィンはなぜ風上に向かって走れるか——112
⑦テープの声が自分の声とちがって聞こえるのはなぜ?——112
⑧空が青いのはなぜ?——113
⑨南極と北極ではどちらが寒いか——114
⑩カバのかく汗は何色?——115
⑪本の中にいる虫はなに?——115
⑫鳥はほんとうに、夜になると目が見えないの?——116
⑬マグロやカツオなどの大型回遊魚は、休まないの?——117

⑭ウサギは自分のうんこを食べるってほんと？――118
⑮ホルスタインは、なぜ年中お乳が出るのか――119
⑯赤ちゃんの手足があたたかくなると眠い証拠だというのはほんと？――120
⑰手の指の長さがちがうのはなぜ？――121
⑱なぜ、顔には鳥肌が立たないの？――121
⑲ニワトリはなぜ朝になると鳴くの？――122
⑳ニホンザルやマントヒヒのお尻は、なぜ赤いの？――123
㉑イカの足、ほんとは腕なの？――124
㉒キンギョが鳴くってほんと？――125
㉓ちりめんじゃこ、白子干し、小女子のちがいは？――125
㉔ごぼうを食べるのは世界中で日本だけ？――126
㉕梅干しはすっぱいのになぜアルカリ食品なの？――127
㉖日本人はなぜ、カルシウムが不足しているのか――128
㉗子供が甘党なのはなぜ？――129

第5章

自然は思っていた以上に意外だ

①クマとカエルでは冬眠の仕方がちがうの？——132
②ヘビが自分の口より大きなネズミを食べる仕組みは？——133
③ウサギの毛は何を合図に生え変わるのか——133
④動物園のクマはなぜ冬眠しないのか——134
⑤恐竜時代のトンボが実在するか——135
⑥蚊ばしらの蚊は人を刺さないの？——136
⑦チョウにも縄張りがあるの？——137
⑧ウナギが華厳滝を登るってほんと？——137
⑨泳げない貝が大海を旅する方法は？——138
⑩イカのスミはただの煙幕ではない？——139
⑪打ち寄せる波はどこからくるの？——140
⑫血液は海水が体内に閉じ込められたもの？——141
⑬昆虫の種類はなんと八十万——142

⑭日本の高山には北極と同じ生物がいる？――143
⑮ナマケモノには緑の藻が生えている？――144
⑯ミノムシの成虫はどうやって交尾するのか――144
⑰チョウはオスだけが水を飲む？――145
⑱血液は赤いのになぜ血管は青いの？――146
⑲偏桃腺にもちゃんと役目があるの？――147
⑳心臓は休まなくても平気なの？――148
㉑太陽の黒点が、異常気象をもたらす？――148
㉒酸性土壌の日本は酸性雨に強い？――150
㉓サケやウナギが海と川で生活できるのはなぜ？――151
㉔地球も月も星も、みんなまるいわけは？――152
㉕超々々々々々高層ビルは立てられるか？――153
㉖どうして夜が暗いの？――154
㉗どうして夏至は真夏にないのか――155
㉘流れ星の正体は宇宙のチリ？――156

第6章

知っていると少し得する雑学知識

㉙どうして星と星は衝突しないの？——157
㉚日食には、自然界の偶然が作用している？——158
㉛土星の環は、消えることがある？——159
①カツオのタタキは、なぜ皮を焼くのか——162
②洗濯物が、大気の乾燥した冬より、湿度の高い夏の方が早く乾くのは？——162
③ピッチャーの球が重い、軽いという意味は？——163
④なぜ信号は、赤、青、黄なのか——164
⑤富士山に川がないのはなぜ——165
⑥ウオッカやショウチュウは、絶対に凍らない？——166
⑦エレベーターは絶対安全か——167
⑧赤外線は赤くない？——168
⑨ジャガイモをリンゴといっしょに置いておくと芽が出にくい？——169

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.